



道徳だより



本校では今年度「希望と勇気、努力と強い意志」「伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を中心に道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われるのが道徳教育です。毎週1時間行われる「道徳の時間」では子どもたちが日々の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めていきます。この道徳便りでは、道徳の時間などの子どもたちの様子をお伝えしていきます。

ご家庭でも保護者の方々と子どもたちが一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

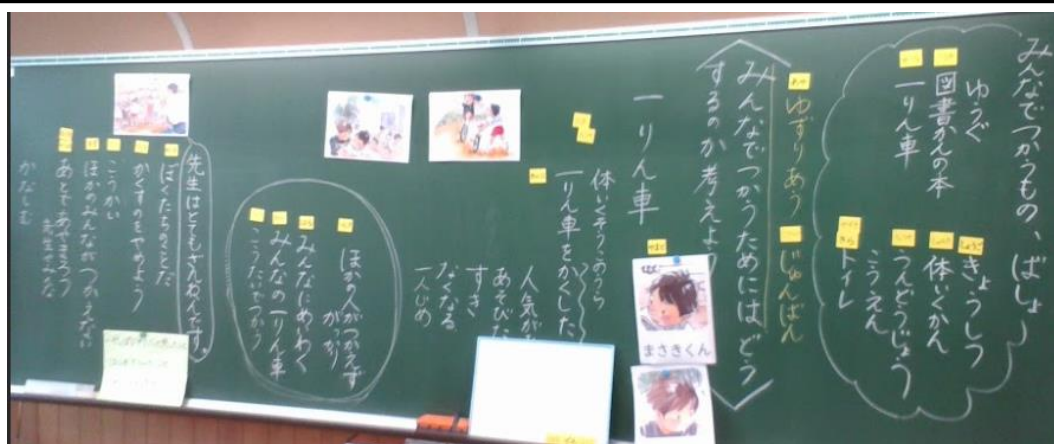
道徳の時間の様子 2年生「一りん車」

みんなで つかう ためには（規則の尊重）

みんなで使う物を「自分さえよければ・・・」という使い方をすると、みんなが気持ちよく使えなくなることに気づき、みんなで使う物を大切にしようとする判断力を育てることをねらいとして学習をしました。

みんなに人気がある一輪車あそび。ひでくんとまさきくんも一輪車に乗るのが大好き。ある日二人は、一輪車を体育倉庫の裏に隠して帰ります。次の日、朝礼で先生が一輪車を持って台に上がり、二人は胸がドキドキしました。

授業では、二人がいけない行動をしてしまったわけを考えることを通して、つい自分勝手な行動をしてしまった二人の気持ちに共感しながらも、どうしていけなかったのか考えました。自分たちさえよければいいのか、他の友達はどう思っているのかなど、きまりを守ることに考えていました。みんなが使う物には使い方やきまりがあります。「どうしてきまりがあるのか」「使うときにどんなことを考えることが大切か」など、考えて行動できるといいですね。



子どもたちのノートや発言より

- みんなのものはひとりじめしない。みんなが使いたいのに自分だけ使っていたら、嫌な思いをさせてしまうと思った。
- 自分勝手なことをすると、みんなが使えないので気をつけようと思う。
- みんなのものは、順番を守って、時間交代で仲良く使いたいと思った。
- ゆずり合ってなかよく使いたいと思った。